

## 1. 運営体制

代表	ホップ (佐々木)
副代表 (担当副会長)	グリーンピース八田西 (中島) ひまわりくらぶ (谷山) つくしんぼくらぶ (谷山)
書記	持ち回り
委員	りーふ (高田)
委員	運動療育クラブのあ (森谷)・運動療育FCのあ (森谷)
委員	ぼぷら園 (竹田)
委員	かがやきハウス (澤田)・きらきらハウス (澤田)
委員	ほのか (山岡)
委員	クレヨン (根本)・LuLu (根本)
委員	ぱんだ (板野)
委員	泉北わわ (中西)
委員	オリーブハウス (中谷)
委員	ホップ (東内)

## 2. 活動内容

## 委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
5 月 14 日	代表、副代表にて話し合い	・第 1 回研修会の事前打ち合わせ・役割分担
6 月 14 日	10 事業所・11 名	・9 月研修会について・第 2 回研修役割分担
9 月 13 日	8 事業所・12 名	・第 3 回研修会の確認・役割分担
11 月 1 日	代表、副代表にて話し合い	・第 4 回グループディスカッション内容
11 月 8 日	10 事業所・10 名	・第 4 回研修内容について・役割分担
12 月 13 日	5 グループ司会者会議 5 事業所・5 名	・各グループの記録から共通意見集約
1 月 14 日	9 事業所・11 名	・第 5 回研修内容について・役割分担
2 月 21 日	5 グループ司会者会議 5 事業所・5 名	・各グループの記録から共通意見集約
3 月 14 日	15 事業所・16 名	・年間まとめ、26 年度に向けて

## 研修 (5 回実施)

研修名	開催日	場所	参加者
・障がいや発達の姿から見えてくる基本的な話 ・具体的な事例を通して学ぶ	平成 25 年 5 月 28 日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	堺市福祉会館	54 名
研修名	開催日	場所	参加者
・心の問題に踏み込んで	平成 25 年 6 月 28 日	堺市福祉会館	31 事業所

・具体的な事例を通して学ぶ	百舌鳥支援学校 金井孝明氏		55名
支援の必要な子どもの性と生 ～思春期における第2次性徴の捉え方 と性教育～	平成25年10月9日 大阪発達支援センターぽぽろ 千住真理子氏	健康福祉プラザ 大研修室	95名 役員8名
児童発達管理責任者対象グループディスカッション ・動けない子の支援 ・屋外活動の支援	平成25年12月3日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	39事業所 49名
児童発達管理責任者及び支援者対象グループディスカッション ・ヒヤリハット実態交流 ・職員間での情報共有や伝達方法の工夫	平成26年2月7日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	34事業所 50名

### 3. 運営について

今年度の活動方針は4つの柱を立ててスタートしました。①の現場に即した研修として、2回グループディスカッションに取り組みました。テーマもみんなのニーズから決定し、各事業所がテーマについてどのように取り組んでいるのかを交流し学び合いました。基本的には児童発達支援管理責任者が中心の参加でしたが直接支援者の参加もあり、「大変勉強になった」「早速持って帰り、役立てる」等多くの声があり、来年度へもつなげていきたい研修内容でした。②については、連絡会全体会議の中に研修が組み入れられたことで、年間を通して多くの研修が行われ、全事業所のスキルアップにつながったと思います。③については発達や障害の理解について2回連続研修を行ったことで、多くの事業所から「子どもの見方が変わった」「深く理解することで支援の仕方が学べた」等大変好評でした。④の新人育成については具体的には取り組めませんでした。今後の課題にしたいと思います。概ね方針に基づいて実施できたことと今年度は役割分担が毎回きちんと果たされ役員全体で研修が進められたことは良かったと評価しています。最後の研修委員会で全員が「委員になってしんどかったけれど勉強になり良かった」「来年度も引き続き研修委員会で頑張る」と発言されたことが何よりも大きな成果であったと感じています。只DVD制作やグループディスカッションの司会者は、2度集まるなど役割によっては少し負担が大きかったと思いますので、今後はこのような係りも交代でできるようにしていきたいと思っています。

### 4. 課題

1年目は32箇所だった事業所が現在は58団体になり、まだ増えていく勢いです。研修内容についても毎回アンケートで様々なニーズがあり来年度も絞っていくのは難しいなと思います。事業所数が増えれば増えるほど、利用者にとっては選べる箇所が増える訳で、その支援内容が問われていくことでしょう。放課後デイサービスを利用する子ども達が豊かな時間を過ごせるよう、支援力がアップするような研修、次々開所する事業所に今までの研修が伝えられたり、療育の事なら何でも研修委員会に聞いたらいいよと言えるような体制や資料作りもしていきたいと考えています。